



Sainokuni Higashiomiya Medical Center

彩の国東大宮メディカルセンター
研修医募集案内





Sainokuni Higashiomiya Medical Center



医療人としての第一歩を
ここから始める



医療人としての第一歩を 充実した環境・教育体制の下で



院長 藤岡 丞

2019年1月1日付で院長を拝命しました藤岡と申します。坂本前院長の志を引き継ぎ、「患者さんも職員も笑顔になれる病院」を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

当院の最大の特徴は、診療科や職種を越えたチームワークの良さです。特にがん診療の面では、診断から手術、放射線治療、化学療法、さらに緩和ケアまで、高い知識と技術を身につけたプロフェッショナルの力を集約して、患者さんを中心にした質の高い医療を提供しております。また救急医療においても、より多くの患者さんに、より早く高度の治療を提供する体制を整えております。

もうひとつの特徴は、医療の本質である「患者さんに寄り添う心」です。心身を病んだ患者さんに少しでも癒しの環境を提供しようと、院内には木と水をイメージしたインテリアを創造し、病院でありながら病院でない安らぎの環境を醸し出しております。このような環境は私たち職員にとっても、伸びやかに自分の力を発揮し、心から患者さんに寄り添うことができる力を与えてくれます。

医学生の皆さんへ

これから医療の道を歩みだす皆さんは、社会から「良き医師」になることを強く求められています。「良き医師」にはさまざまな要素があると思いますが、まずは常に患者さんを思う心、多職種と笑顔でチームを築けるコミュニケーション能力、そして怠けなくなる心を抑えて自分を高める克己心が重要だと思います。

皆さんが「良き医師」になることを社会から求められている以上に、当院は臨床研修指定病院として「良き医師を育てる」ことを強く求められています。そのためにも病院として、さまざまな取り組みを行っています。

各診療科の医師は原則的に厚労省の指導医講習会を終了しており、熱心に指導に当たっています。EPOCに基づいて、しっかりしたカリキュラムと360度評価システムを備えています。女性医師を含む中堅医師数名をメンターに任命し、診療以外の悩みまで先輩として相談に乗っています。また女性の専従事務職員2名が、生活面まで含めてキメの細かいケアをしてくれます。

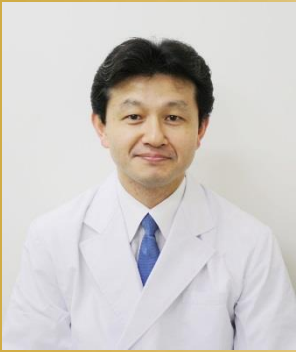
そのような環境のもとで、皆さんは「良き医師」への道を着実に歩んでいけると自負しています。臨床研修医に選ばれない病院は、患者さんにも選ばれません。臨床研修の質の高さは医療の質の高さを示す良い指標であると考え、これからも臨床研修に力を入れていきます。

臨床研修センター長

副院長 長田 秀夫

診療科 脳神経外科

2015年 入局



「3年目での独り立ち」

当院の研修目標です。その為の様々な取り組みの一端をご紹介します。

1. 「挨拶をする」「時間を守る」「約束を守る」「協力する」

医師として成長していく上で最も重要な要素の1つと考えております。医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のことを自然にできるように指導しております。皆様の多くは3年目以降、大学病院などに進んでいきます。どこに行っても恥ずかしくない人間性を磨いて頂きます。

2. チーフレジデントの選出

2019年度から開始しました。前年度2月に1年目2年目の全初期研修医のみによる投票で選出します。院内の各種部会への参加、研修医の意見・要望のとりまとめ、初期研修医採用試験の面接官の一員等々、上から与えられてこなすのみではなく、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩たちが更により良き研修をできるように活動していく中心的役割を担います。一方で同期によるチーフへのサポートについても注目し評価しております。

3. メンター医師制度の確立、センター長面接

初期研修医3-4人に1人の常勤医師を配置し、皆様のメンタルヘルスケアのみならず、メンター任期を1~2年とし、多くの指導医が専門分野だけでなく、初期研修医の日常に接することで、臨床研修センター自体の活性化を図っていきます。また定期的なセンター長との個人面談で、研修進捗の確認や今後の進路などについても相談できる体制です。

4. 学会発表などのプレゼンテーション教育

皆様は2年間の研修中、埼玉医学会総会、大宮医学会総会、大宮医師会主催の他院初期研修医との合同症例検討会などの学会発表、論文作成のほか、年2回ある院内学会、月1回の院内ランチョンセミナー、CPC（臨床病理）検討会、等々、多くのプレゼンテーションを実施する機会が与えられます。特に院内学会やランチョンでは専門科の枠を超えて院内常勤医や他職種が集い、様々な質疑応答を経験することができます。修了時にはスライド作成、プレゼンテーション能力が十分身につくように指導に力を入れております。

5. 各診療科の研修内容のフィードバック

時代や環境の変化とともに、研修メニューや指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には皆様も参加する臨床研修委員会等を通じ、研修内容のフィードバックや改善など随時お願いしております。ローテートする各科で効率よく基本的技能や知識が身につくように努めております。そして当院の柱の1つである救急科（2次救急、年間7,000件程度）の現場でcommon diseaseを中心に幅広い分野の疾患、外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。

将来に向けてまだまだ新たな取り組みを導入したり、改善していく所存です。
一緒に頑張りましょう！！



積極性とやる気をも
って活躍してほしい



診療科全体で
研修医を育てます



多職種との
関わりの中で、
自分ができる
ことはないか



研修医の
【やりたい】に
応えたい





「救急科研修について」

研修医1年目

2022年度入職 金沢大学出身

初期研修が始まって2ヶ月が経ちました。ほとんど新鮮味がなくなっていた学生生活から心機一転、毎日フレッシュな気持ちで楽しみ、時には苦勞しながらも日々の業務に取り組んでいます。ここではそんな救急科ローテーション中の私の研修生活について、出来る限りお伝えしたいと思います。

朝は指導医の先生と共に前日の症例の振り返りを行い、診察や検査、その後の方針決定に至るまで様々なフィードバックをいただきます。実際に私達がファーストタッチで診察している症例から学ぶことは非常に身になり、その日からすぐに教えていただいたことを活かすことができます。朝のカンファレンスからは、どんな症例からでも学ぶことは多く無駄になる経験はないということに気付かされます。また、研修医が1日1ネタ、救急外来で使えるような知識を用意して、その場で発表するというのも行なっています。ネタの内容は診断基準やガイドラインといったものから豆知識のようなものまで幅広いのですが、ごく稀に指導医の先生も「それは知らなかったわ」とおっしゃるような内容があったりと、非常に充実したカンファの1コーナーになっています。

その後、救急外来に降りて、病院にやってくる患者さんの診察を行います。当院では研修医がファーストタッチを行い、診察や検査、アセスメントやコンサルトに至るまで、救急外来で行われる診療の全てに関わることができます。もちろん私たちは指導医の先生の判断のもとで動くのですが、当院の救急では「3年目の4月にひとり立ち」をテーマにしており、先生は私たちに付かず離れずの距離感で見守ってくださいます。最初はそれがとても怖く、逃げ出したいと思ったこともありましたが、そのおかげで今は研修当初に比べて落ち着いて対応できるようになってきたと感じています。

また、他職種のスタッフの皆さんも不慣れな私に対して優しく接していただき、業務が円滑に進むようにご助力いただいています。一刻も早くこのチームの足を引っ張ることがなくなるように毎日努力する、そんな研修生活を送っています。

ここでは救急の1日についてお伝えしましたが、当院の魅力は充実した研修内容や指導体制、職場の雰囲気、研修医のバックアップ体制など、挙げればきりがありません。ここまで読んでいただいた方は、ぜひ1度見学に来て当院の魅力に触れてみてください。皆さんとお話できることを楽しみにしています。





「研修医2ヶ月で思うこと」

研修医1年目

2022年度入職 杏林大学出身

長かった医学部6年間を終え、研修医生活が始まって早2ヶ月。先輩方が皆通ってきた道であることは百も承知ですが、研修開始当初は正直、期待を大きく上回る不安で胸がいっぱいでした。そんな私が、今となっては期待と不安が逆転し、日々の研修を楽しめるまでになりました。その経緯を簡単にご紹介します。

まず4月初め、オリエンテーション開始です。当院では職種別だけでなく、全職種合同のオリエンテーションの時間が多く確保されています。そこで、研修医同期はもちろんですが、他職種の入職同期との交流を深めることができ、それはその後の働きやすさに大いに関係してくると感じました。というのも、医学部という閉鎖的な環境に慣れていた私にとって、他職種と気兼ねなく関わること＝かなりハードルが高い！という印象がありました。しかし、このオリエンテーションを経て、入職同期だけではなく院内スタッフの方々と積極的に交流し、働きやすい環境を作り出すことができた実感しています。さらに、BSL等で経験された方もいらっしゃると思いますが、「こんなこと聞いていいのかな？」の中には本当にたくさんの学びがあります。働きやすい環境さえ作れば、勇気を出さなくてもそんな質問を数多く投げかけることができます。この大切さを身をもって実感することは、今後の医師人生でも大きな武器になるのではないのでしょうか。

その後、診療科別研修が始まりました。現在ローテート中の循環器内科では、まず出勤後、病棟でカルテから患者さんの経過をチェックします。このとき、直接担当看護師の方々から夜間の様子をうかがったり、PT、ST、OTの方々からリハビリの進捗を確認したりして、さらに情報を得ます。その状態で朝の回診をスタートし、患者さんから効果的に問診をとることで、より良い治療方針を立てられるようになります。この一連の流れを、いつでも上級医と相談できる環境で行うことができます。上級医と臨床推論を行って患者さんの治療方針を考えることは、非常に学びが多く楽しいです。

また、市中病院では行う機会が少ないイメージの病棟採血や尿カテですが、希望すればいつでも可能です。加えて、病棟だけでなく検査室での外来患者さんの採血もできます。ほか病棟にて、血ガス採血や動脈採血、ベッドサイド心エコー、CV等も行うことができます。さらに週に2日、心臓カテテル検査や手術に入ります。そこではCVを数多く経験でき、急性心筋梗塞等の緊急カテ手術でも焦ることなく手技を行えるようになります。まとめると、急性期診療の基本と十分な手技を、バランスよく習得できてるなど感じている最近です。

少しでも、興味が湧いた！もっと他の話を聞いてみたい！と思われた方、どんなご質問でもお答えしますので、ぜひ一度ご見学にお越しください。研修医一同、心待ちにしております。





「指導の手厚さと 手技を学べる環境が魅力です！」

研修医2年目

2021年度入職 富山大学出身

現在研修病院を探す医学生の方、こんにちは。

まだコロナの影響で見学に制限があり、就活が大変だと思います。僕の1年半の研修で感じたことや研修先選びの理由が少しでも参考になればと思います。

自分が研修病院として当院を選んだ理由の一つは、病院全体が研修医として学ぶ上で雰囲気良かったことがあります。大規模な病院では診療科が豊富なことや先生が多い面はあると思いますが、そうしたところでのメディカルスタッフや診療科間での繋がりが弱いことがあると感じます。当院での見学時には医師以外も含めた医療職員の話しやすさや親切さを強く感じました。実際に研修したこの1年半でも、エコー室や採血室で教えてくださる検査科の方、電話や病棟での相談で積極的に教えていただける看護師・薬剤師や栄養士の方など、研修医に対して優しい指導やアドバイスをさせていただきます。そのため研修医の立場であっても他の人に相談しやすい環境ができていると思います。

もちろん上級生の先生も研修医に対して熱心に指導して下さる方も多く、診療科を超えて手技や処置に呼んでもらえる時もあり、研修の充実や教育に対して積極的に手助けしていただいています。

また研修医同士は2年目8人、1年目7人で、先輩としては後輩の相談に応えるような形で、同期では困ったこと共有する形で助け合い切磋琢磨する関係ができています。救急や当直でも1年、2年はセットでの診療が基本あり、常に安心した研修ができる仕組みになっています。

当院は2次救急指定病院として重篤な疾患や軽傷などの偏りは少なく多くの救急症例が搬送されてきます。それを自身の判断で基本の対応を行いつつ、指導医にフォローしていただく形で診療を行います。研修の中で救急当直は不安に感じる方も多いですが、指導医に任せきりで自身の判断力はつかないことや逆に放置されることもなく、当院では適度な段階を経て力をつけていくことができると思います。そうした教育自体の手厚さと学べる環境が当院の良さとして感じています。

文章では伝えきれない空気や指導の様子はぜひ実際に見学で見ただけだと嬉しいです。見学や相談待ってます。



彩の国東大宮メディカルセンターの特徴

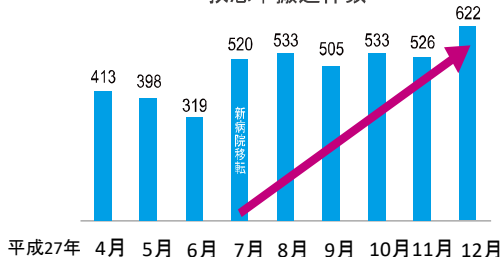
● 救急

救急搬送件数は年間約5,000件を受入れております。

1次、2次救急を中心に参加、小児科以外の患者はすべての受入れを目指しています。新病院移転後、「救急受入れ件数」並びに「救急受入率」とともに改善が認められ、平成28年9月、令和2年9月には、埼玉県より表彰されました。

救急部の研修では、“3年次の4月1日には一人立ちできているように”を研修コンセプトのもと、様々な疾患の初期対応が経験でき、研修医の皆さんの臨床力育成にも適しています。

救急車搬送件数



ER



救急初療室



ICU



ICU病床

● 院内ICLS講習会・院内JMECC講習会 開催

ICLS : 当院で開催するICLSは救急医学会認定のコースのため、学会認定の受講証を取得することが可能です。

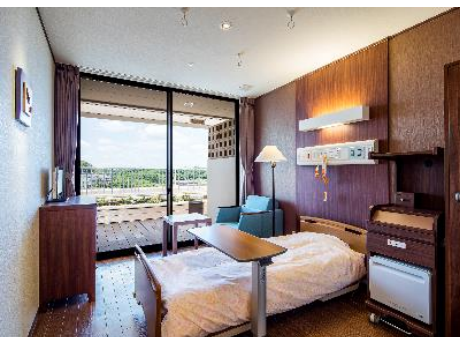
JMECC : 内科専門研修プログラムにて必須とされている救急蘇生講習会JMECCを年1回開催しています。



彩の国東大宮メディカルセンターの特徴

● 埼玉県がん診療指定病院としての機能

放射線治療（リニアック）・PET-CTの導入、外来化学療法室、がんサロンの充実を図るとともに、がん治療センターを開設しました。さらに、さいたま市初の緩和ケア病棟として22床を新規開設し、がんに特化した婦人科を新規立ち上げるなど、埼玉県がん診療指定病院として必要なハード面の充実を図っています。



緩和ケア病棟（個室）



放射線治療（リニアック）



がん治療センター

● 指導医数

臨床経験7年目以上で、指導医の資格がある上級医は、厚生労働省の定める「臨床研修指導医養成講習会」を受講しています。当院の常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ、科全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっています。

● メンター制度

当院では、メンター制度を取り入れ、メンター1人につき研修医3、4名を担当しています。懇親会や普段の声かけを通じ、診療科に関わらず研修全般にわたり相談・サポート役を担っています。また、定期的な面談を行い、全体での情報共有に努めています。



各メンター会の様子

● 医局・研修医室・シミュレーションセンター

医局のデスクの他に、研修医同士、上級医とのコミュニケーションの場として研修医室を用意しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。



医局



研修医室



2段ベッド（研修医室）



シミュレーションセンター

主な年間行事

4月

研修医オリエンテーション・新入職員歓迎会・お花見

職種を超えて一同に学ぶことで新人としての意識の統一を図ります。



6月

院内学会（年2回）

各診療科の医師達が相互に診療内容を把握し理解を深め、さらなる信頼と協力関係を構築するために通常の学会形式で質疑応答を含め発表を行います。



10月

AMG 大運動会

グループ病院の全職員が参加し、交流を深めます。



12月

病院忘年会

浦和ロイヤルバインズホテルで行われ、参加した500名以上の職員が一年の朗を労いました。



主な年間行事

1月

AMG診療部交流会

病院の垣根を超えた診療部医師間の情報交換会

2月

大宮医師会症例検討会

自治医大さいたま、さいたま市民医療センターの研修医が集まり、代表者が症例を発表します。



埼玉県医学会総会

研修医の枠で発表をし、2年間のうちに1つの論文投稿をします。



3月

研修修了式

2年間お疲れ様でした



初期臨床研修医プログラムスケジュール

当院では、初期研修の2年間は、将来の専攻分野にかかわらず「プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を習得する期間」としてしています。厚生労働省が定める「経験すべき症状・病態・疾患」をこの2年間で達成できることを第一の目的としています。専門医になったときの実力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてしています。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思いますと考えております。

● 研修プログラム ～3年目のひとり立ちを目指して～

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	8週		8週		8週		8週		8週		8週	
	必修		必修		必修		必修		必修		当院必修	
	内科		消化器内科		循環器内科		外科		救急科		麻酔科	
2年次	4週	4週	4週	4週	4週	4週	24週(6ヶ月)					
	必修 協力施設	必修 協力型	必修 協力型	必修 協力型	必修	調整	自由選択科目					
	地域医療 (外来研修) 外部	精神科 外部	産婦人科 外部	小児科 (外来研修) 外部	救急科	必須科目 不足した 期間を 調整する	内科、循環器内科、消化器内科、外科、救急科、麻酔科、放射線科 整形外科、泌尿器科、脳外科、リウマチ内科、血液内科、 緩和ケア内科、病理診断科、皮膚科、耳鼻咽喉科 ※小児科、産婦人科、精神科、地域医療					

■ 厚労省必須

■ 当院必須

■ 研修医の希望で自由に選択することが可能。但しプライマリケアを重視し、1つの診療科に偏ることのないよう調整する。

※スケジュールの順番については、研修医同士の調整が必要であり、順不同となります。

※小児科、産婦人科、精神科、地域医療について、4週以上を希望する場合は、協力型病院との調整になります。

※一般外来…地域医療、小児科、内科研修にてカウントします。

● 協力型病院

・小児科研修

上尾中央総合病院（上尾市）
越谷市立病院（越谷市）
埼玉医科大学総合医療センター（川越市）
柏厚生総合病院（千葉県）…8週
行政法人国立病院機構埼玉病院（和光市）

・産婦人科研修

上尾中央総合病院（上尾市）
自治医科大学附属さいたま医療センター（さいたま市大宮区）
国立病院機構西埼玉中央病院（所沢市）
越谷市立病院（越谷市）
埼玉医科大学総合医療センター（川越市）
東京北医療センター（東京都北区赤羽）

・精神科研修

大宮厚生病院（さいたま市見沼区）
埼玉精神神経センター（さいたま市中央区）
横浜相原病院（神奈川県）

・地域医療研修

平戸市民病院（長崎県平戸市）
平戸市立生月病院（長崎県平戸市）
長崎県上五島病院（長崎県平戸市）
柿添病院（長崎県平戸市）
青洲会病院（長崎県平戸市）
秩父市立病院（秩父市）
さいたま北部医療センター（さいたま市北区宮原町）
小池内科クリニック（さいたま市北区土呂町）

他にもこんなに充実!!

- モーニングレクチャー ●研修医症例発表会 ●院内学会 ●ICU勉強会
- EBMセミナー ●NST研修会 ●外部講師による講演会 など

レクリエーションも・・・★



- 新入職員歓迎会 ●院内旅行・BBQ・屋形船 ●納涼会（花火大会） ●AMG大運動会 ●大忘年会



新専門医制度について

新制度においては、2年間の初期研修を終えた医師が「総合診療専門医」を含んだ19の基本領域の分野を3年間で習得し、より詳しい専門分野として「サブスペシャリティ」へと進んでいきます。

● 基幹施設 内科専門研修



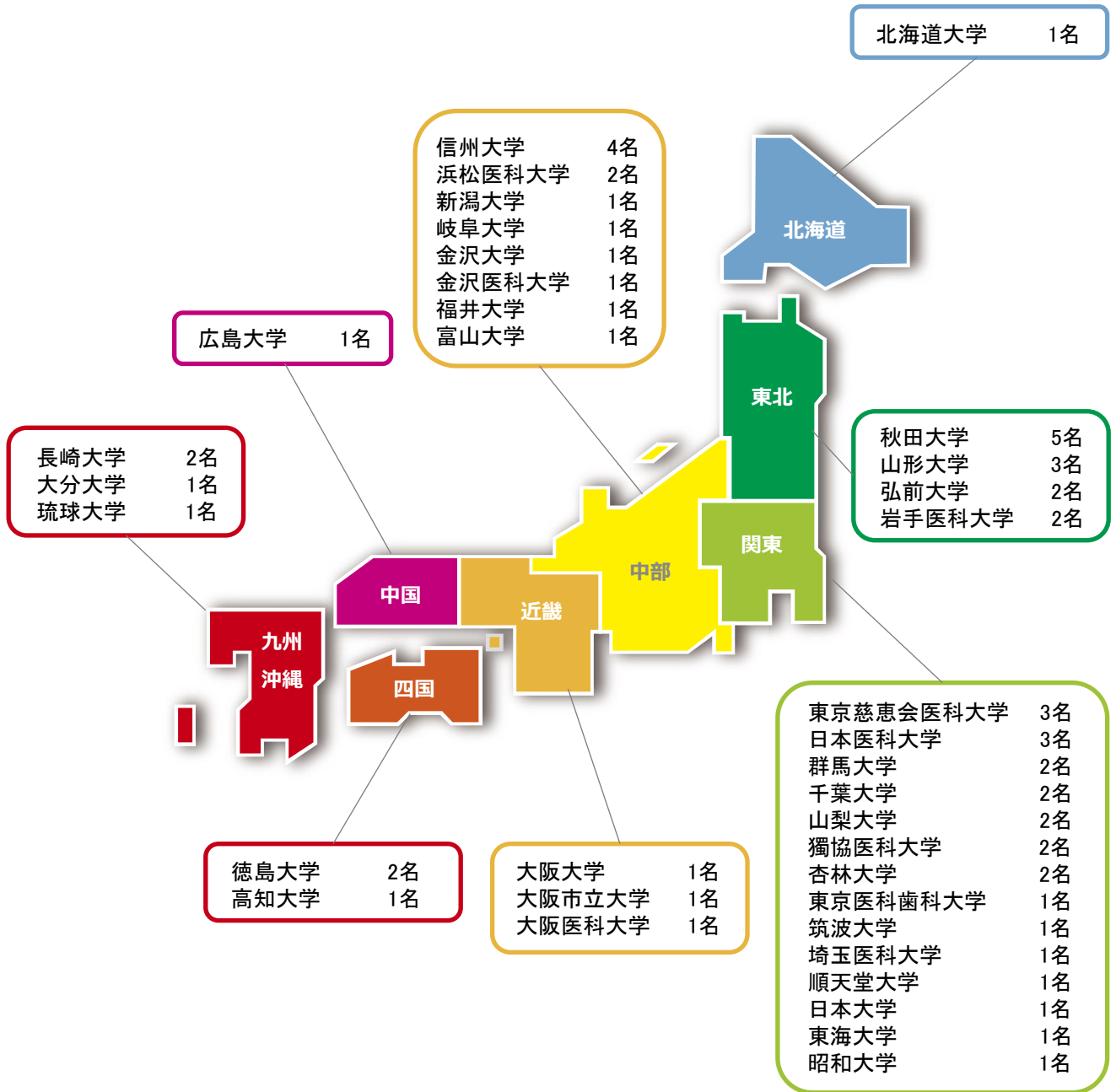
● 連携・関連施設として各基幹施設と連携しています

- ・ 外科 基幹施設：東京女子医科大学東医療センター 自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・ 脳神経外科 基幹施設：防衛医大 慈恵医科大学
- ・ 整形外科 基幹施設：埼玉医科大学総合医療センター
- ・ 泌尿器科 基幹施設：埼玉医科大学病院
- ・ 救急科 基幹施設：さいたま赤十字病院 自治医科大学さいたま医療センター
- ・ 麻酔科 基幹施設：埼玉医科大学総合医療センター
- ・ 放射線科 基幹施設：自治医科大学さいたま医療センター

研修医 出身大学一覧 (2014年度～2022年度)

全国各地から採用をしています。

大学別、出身地、男女比など関係なく、採用試験・面接試験により採用決定しています。



初期研修修了後の進路 (2018年度～2021年度)

	病院名	専攻科	区分	所在地
2022(R4)年3月卒	済生会川口総合病院	整形外科	市中	埼玉県
	帝京大学医学部附属病院	麻酔科	大学病院	東京都
	日本医科大学付属病院	血液内科	大学病院	東京都
	日本大学医学部附属板橋病院	脳神経外科	大学病院	東京都
	弘前大学医学部附属病院	循環器内科	大学病院	青森県
	さいたま市立病院	麻酔科	市中	埼玉県
	日本医科大学付属病院	形成外科	大学病院	東京都
	さいたま市立病院	小児科	市中	埼玉県
2021(R3)年3月卒	獨協医科大学埼玉医療センター	皮膚科	市中	埼玉県
	杏林大学医学部付属病院	泌尿器科	大学病院	東京都
	がん研有明病院	整形外科	市中	東京都
	横田空軍病院	一般内科	市中	神奈川県
	練馬光が丘病院	総合診療科	市中	東京都
	東京慈恵会医科大学付属病院	皮膚科	大学病院	東京都
	順天堂大学医学部附属順天堂医院	整形外科	大学病院	東京都
	福岡大学病院	放射線科	大学病院	福岡県
2020(R2)年3月卒	東京大学医学部付属病院	整形外科	大学病院	東京都
	東京女子医科大学病院	泌尿器科	大学病院	東京都
	JCHO埼玉メディカルセンター	内科（腎内）	市中	埼玉県
	東京医科歯科大学医学部付属病院	脳神経外科	大学病院	東京都
	順天堂大学医学部付属病院	整形外科	大学病院	東京都
	東京女子医科大学病院	泌尿器科	大学病院	東京都
2019(H31)年3月卒	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液内科	市中	埼玉県
	東京大学医学部付属病院	麻酔科	大学病院	東京都
	東京大学医学部付属病院	病理	大学病院	東京都
	さいたま市立病院	麻酔科	市中	埼玉県
	東京医科大学病院	形成外科	大学病院	東京都
	順天堂大学病院	糖尿病代謝内科	大学病院	東京都
	さいたま赤十字病院	救急科	市中	埼玉県
	久喜すずのき病院	精神科	市中	埼玉県

彩の国東大宮メディカルセンター 臨床研修プログラム募集要項【2023年度】

1. 応募資格

該当する年度の3月に医師免許を取得見込みの者で、且つマッチングに参加する者
当院の病院見学、またはオンライン見学に参加している者

2. 募集人数 7名

3. 採用試験の日程

① 選考日

2022年8月23日(火)、8月24日(水)、【予備日】8月25日(木)

② 選考方法 : 個人面接、筆記試験(国家試験レベル)50分

* 人物重視で選考します

4. 出願書類等

下記の書類を一括して封筒に入れ、下記提出先へ送付してください

① 彩の国東大宮メディカルセンター臨床研修医応募願書(※指定様式 当院HP上に添付データあり)

② 履歴書(必ず写真を添付してください ※指定様式 当院HP上に添付データあり)

③ 成績証明書・卒業(見込み)証明書

④ 健康診断書(大学発行のもので可)

⑤ CBT成績証明書(必須)

5. 応募締切

2022年7月31日(日) 必着

6. 書類提出先・問い合わせ先

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522

彩の国東大宮メディカルセンター 臨床研修センター 宛

TEL:048-665-6111(代表)

URL:<http://www.shmc.jp/>

E-mail: kenshui@shmc.jp

研修医の処遇

① 身分:常勤職員(研修医)

② 給与:1年次 450,000円 / 2年次 500,000円 (月額)

③ 勤務時間:研修科によって異なる(週40時間以内)

(1) 月～金 9:00～17:30 / 土 9:00～13:00(隔週) ...内科系

(2) 月～金 9:00～18:00 / 8:30～17:30 ...外科系

④ 休暇:有給休暇(1年次:10日 / 2年次:11日)

⑤ 休日:日曜、祭日、年末年始(12/30午後～1/3迄)あり

⑥ 当直:土日、日当直あり 月4回まで(1年次15,000円/回 2年次25,000円/回)

⑦ 宿舎:医師住宅規定により住宅を貸与する。家賃補助有り(最大5万円/月まで)赴任時引越し料補助(20万円まで)

宿舎はマンションタイプ(多くの物件から選んでいただき、当院が契約を結びます(借上社宅))

⑧ 保険等:協会けんぽ・雇用保険・厚生年金・労働者災害補償保険

⑨ 健康診断:2回/年

⑩ 医師賠償責任保険:病院において加入

⑪ 学会・研修会等:参加費用有(8万円/年)3日/年(公休扱い)

⑫ 食事:職員食堂・コンビニ・ペーカリーあり

⑬ 福利厚生:療養費還付制度、職員旅行、保養所



車でお越しの場合



- 首都高速埼玉新都心線 「さいたま見沼」ICより約18分
- 東北自動車道 「岩槻」ICより約21分

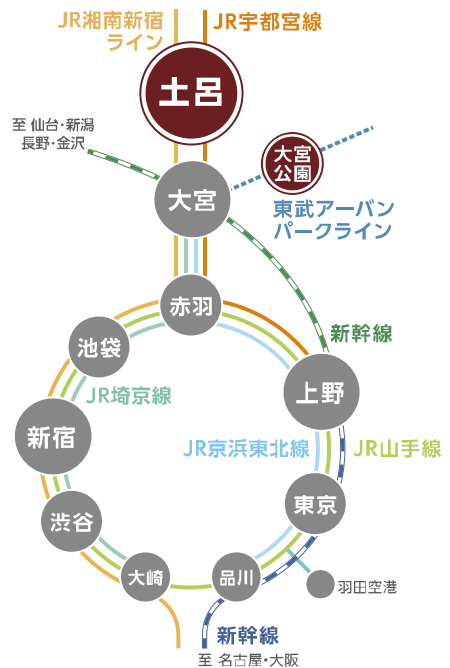
電車をご利用の場合



- JR (宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン)
「土呂駅」東口より徒歩11分
- 大宮駅→土呂駅 3分
- 浦和駅→土呂駅 11分
- 久喜駅→土呂駅 17分
- 上野駅→土呂駅 30分
- 池袋駅→土呂駅 30分

- 東武アーバンパークライン (東武鉄道)
「大宮公園駅」より徒歩9分
- 大宮駅→大宮公園駅 4分
- 春日部駅→大宮公園駅 17分

※上記時間は目安としてご利用ください



医療法人社団協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町 1522